

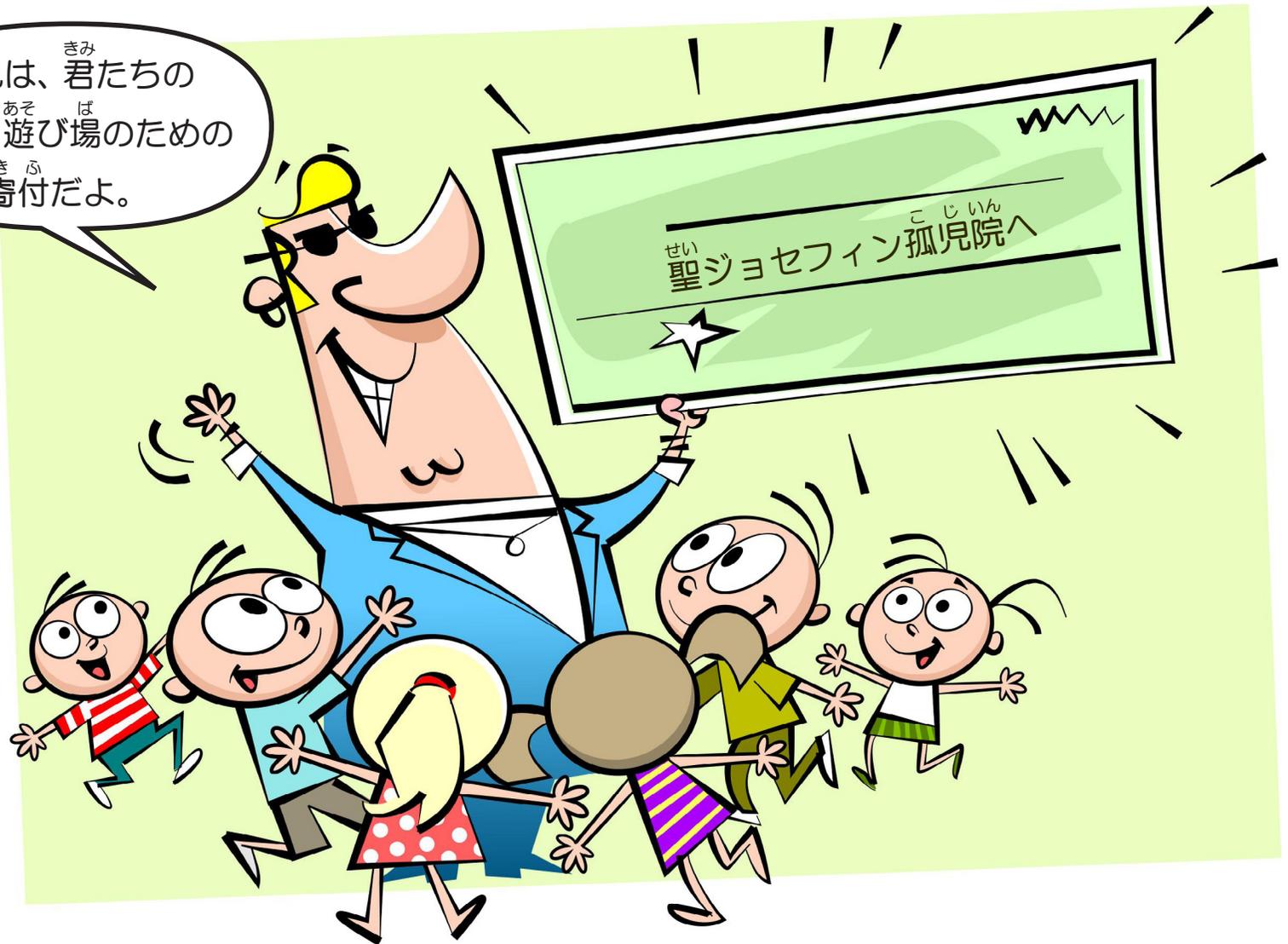
よ
良いものを

かんしゃ
感謝しよう

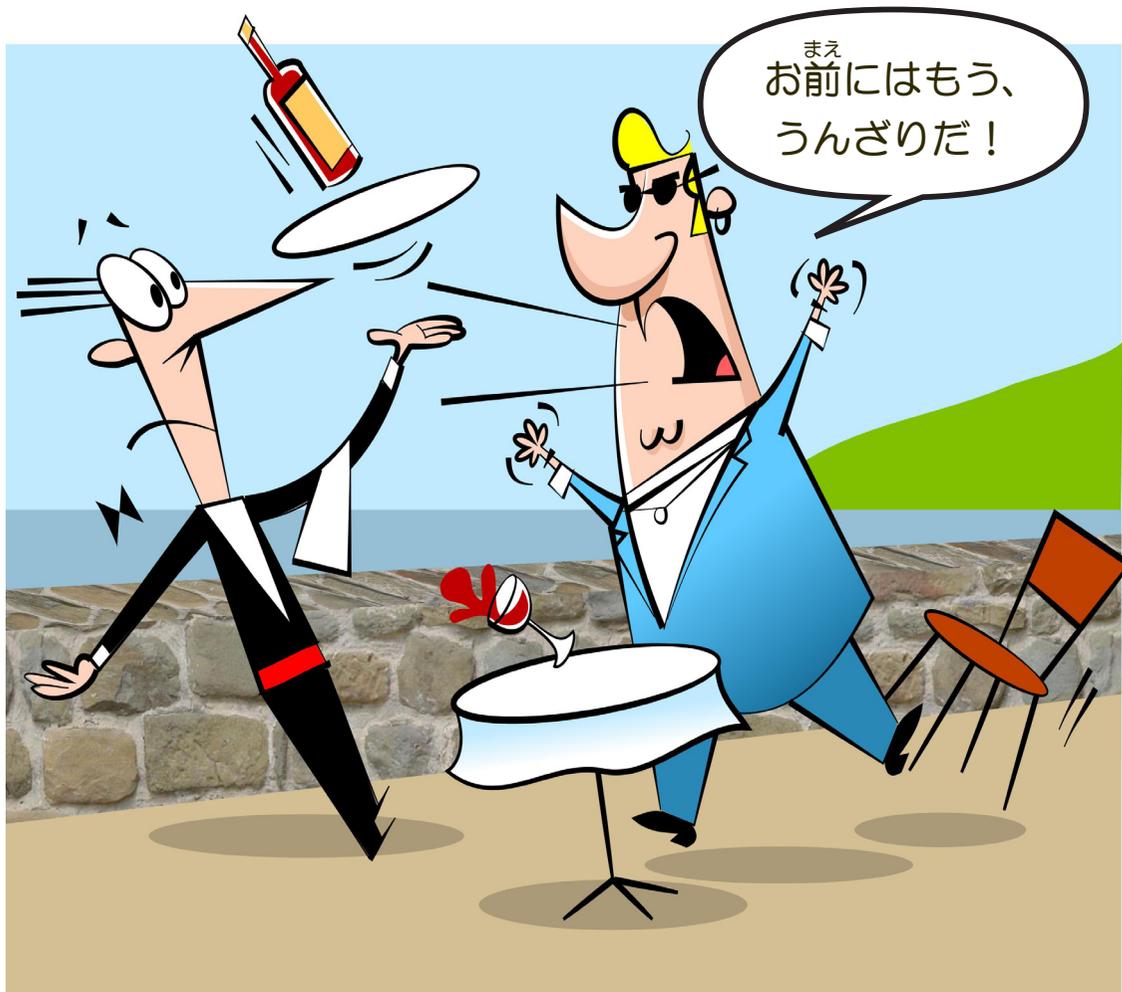
だれかがした^よ良い^{おこな}行いや、だれかが^い言った^{めいげん}すばらしい^{しんり}ことや名言や真理を
感謝^{かんしゃ}するのに、その^{ひと}人の^うすべて^いを受け^{ひつよう}入れる必要はない^よんだよ。良い^よ部分^{ぶぶん}を認^{みと}めて

感謝し、
その^{えき}益に
あずかれば
いいんだ。でも、
だから^いと言って、
その^{ひと}人がしたり
言っていること
すべてを
受け入れたくは
ないだろう。

これは、^{きみ}君たちの
^{あたら}新しい^{あそ}遊び場^ばのための
^{きふ}寄付だよ。



そのような^{こころがま}心^ま構^まえ^までい^まれば、わたしたちと全^まくちがうことを信^{しん}じている人^{ひと}たちとでも、
共^き通^{つう}点^{てん}を見^みつけるのが簡^{かん}単^{たん}になるよ。そうすれば、その共^も通^ち点^ちを用^{もち}いて、イエス様^{さま}や、
わたしたちが持^もっている答^{こた}えを提^{てい}供^{きよう}することができ^きるよ。



わたしたちは、大^{おお}勢^{ぜい}の人^{ひと}たちが
している良^よいこと、すばらしいこと、人^{ひと}を
元^{げん}気^きづけることを、感^{かん}謝^{しゃ}して受^うけ入^いれる。

たとえその人^{ひと}たちが、わたしたちが
賛^{さん}成^{せい}も支^し持^じもしないことを別^{べつ}にして
いたとしてもね。さらには、その人^{ひと}が
過^か去^こに大^{おお}きな罪^{つみ}を犯^{おか}していたとしても
だよ。わたしたちが受^うけ入^いれも賛^{さん}成^{せい}も
しない特^{とく}定^{てい}の罪^{つみ}をもとにして人^{ひと}を
判^{はん}断^{だん}してしまうなら、詩^し篇^{へん}も受^うけ入^いれ
られなくなってしまうんだ。ダビデは、
ある人^{ひと}を死^しにいたらせただからね。

ダビデ王はだれを殺させたか、知っているかい？ また、彼はなぜそんなことをしたんだろう？ それについてのくわしいことは、サムエル記下の11章で読んでね。



詩篇51篇は、預言者ナタンがダビデの罪に対する神の罰を伝えに来た後、ダビデが祈った祈りだよ。10節にはこう書かれている。「神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください。」ダビデ王が神様の前でくい改め、くだけた心で謙虚になったことが、ダビデが後にイスラエルのより良い統治者、また指導者となるのに役立ったんだ。

さらに言うなら、モーセはいかりに
まかせて人を殺してしまったので、
わたしたちはモーセや彼の指導者として
の手本、また彼が書いた聖書の
最初の5書を感じできなくなってしまう。

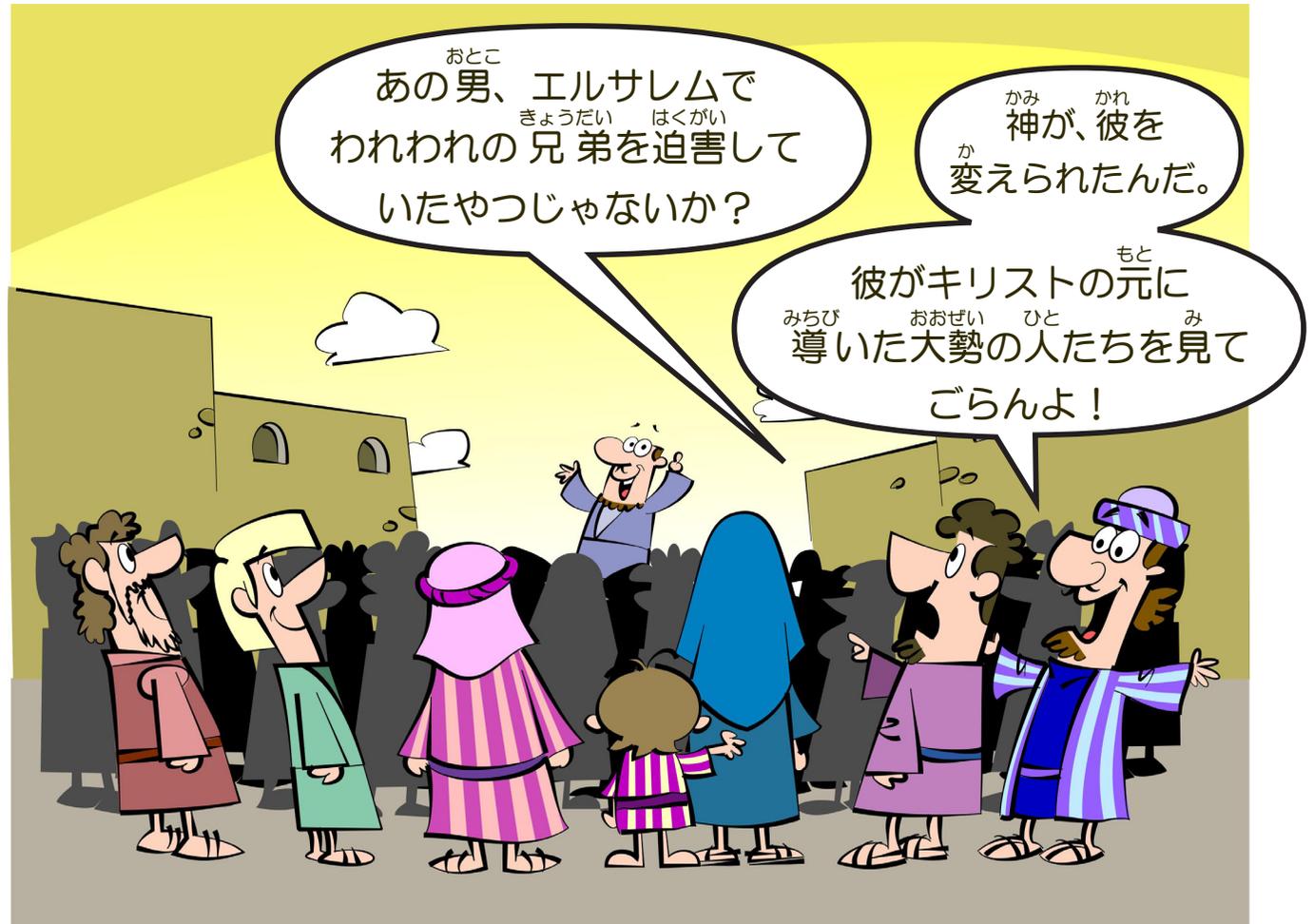


モーセは、パロの娘の家で育てられたけれど、ある時点で自分がユダヤ人であることを知るようになる。出エジプト記の2:11-15aには、エジプト人がユダヤ人の奴隷を打ち殺すところを目撃したモーセがおこってそのエジプト人を殺してしまい、その後パロのいかりをおそれて荒野に逃げた話が書かれているよ。

だけど今日モーセについて考えるときは、彼の罪だけではなく、神様が彼を使ってイスラエル人をエジプトから導き出し、また彼らに十戒を授けたことを思い出すよね。

ペテロはイエス様のことを知らないと言ったからとか、パウロはサウロという
名前だった時に初代教会をひどく迫害したからとこだわっていたら、わたしたちは
新約聖書を感謝し、そこから益を得ることもなかっただろう。

使徒パウロは、
クリスチャンを迫害する
ことで新たな人生を
始めたけど(使徒行伝
9章を読んでね)、目を
見張るような回心と
くい改めの後、
初代教会で最も
影響力のある指導者の
1人になったんだ。



そういったことにこだわるなら、わたしたちが感謝したり益を被ったりできることは、
ほとんど何もなくなってしまう。カンペキな人は、だれもいないからだ！ 一体どこで一線を
引いたらいいんだろう？



大切なのは、美しい芸術を見たり、きれいな音楽を聞いたりするときは、神様が
アーティストや作曲家に靈感を与えたことを感謝できるってことなんだ。たとえ
その人たちが神様のために生きていなくても、さらには神様を個人的に知らなくてもだよ。
美しくて天国的なものは何でも、明らかに神様からの靈感によるはずだからね。
「あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から下って来る。」(ヤコブの手紙 1:17)

だれかが主のために何かをしようと
していたり、世界を変えるために何かを
しているとき、また信仰を貫いたり、
貧しい人たちを助けようと正義のために
戦っているなら、わたしたちはそれらの
良いことを感謝し、その人たちを祈りで
支えてあげることができる。その人たちが
信じているすべてのことや、彼らの
人生における選択に賛成していなくても
いいんだよ。





ザアカイよ、
急いで下りてきなさい。
今日、あなたの家に泊まる
ことにしているから。
(ルカによる福音書
19:2-10を見てね。)

あれは、金持ちの
取税人ザアカイじゃないか？

地上におられた時、イエス様が
人々とどんなふう^{こうりゆう}に交流したかを
考えてごらん。イエス様は、彼が
賛成しないような選択をした
人たちを、喜んでむかえ入れた。
そんなことはイエス様にはどうでも
いいことだったからだ。大切なのは、
彼らがイエス様の愛を求めていたと
いうことで、イエス様はそれを
自由にお与えになったんだよ。

カンペキで罪を犯したこともない
イエス様が、そんなにも他の人たちを
喜んで受け入れてくださったのに、
わたしたちがそれ以下のことを
するなんて、できないよね？

よいことを、もっと探^{さが}すようにしよう。人々^{ひとびと}がしているよいことを感謝^{かんしゃ}しよう。

わたしたちや他の人^{たひと}が役立^{やくだ}てられるように、人々^{ひとびと}が見つ^みけた真理^{しんり}や知識^{ちしき}や技術^{ぎじゆつ}を
他の人^{たひと}たちにも教^{おし}えてくれることを、感謝^{かんしゃ}しよう。

そういった心^{こころがま}構^もえを持^もっていれば、イエス様^{さま}の良^よい大^{たい}使^しになるのがず^{かんたん}っと簡^{かん}単^{たん}に
なるよ。自然^{しぜん}と、主^{しゆ}の謙^{けん}虚^{きよ}で、無^む条^{じょう}件^{けん}で他の人^{たひと}を受け入^うれる大^{おお}きな愛^{あい}を持^もてるからね。

かんが
考^{かんが}えてみよう:

— 古^{ふる}い歴^{れき}史^し上^{じょう}または現^{げん}代^{だい}史^し上^{じょう}の人^{ひと}で、大^{おお}きな欠^け点^{てん}があ^あったにもか^かかわら^らず、
社^{しゃ}会^{かい}に大^{おお}きな貢^{こう}献^{けん}をした人^{ひと}のこ^ことを考^{かんが}えつ^つけるかな?

S&S link: CB: Tolerance-2d

寄稿: マリア・フォンティーン^{マリア・フォンティーン}の著作物^{著作物}からの改^{かい}作^{さく}、R.A.ワッ^{R.A.ワッ}ター^{ター}ソン 絵: ゼブ

Copyright © 2010年、ファミリー・インターナショナル

"Appreciate the Good"--Japanese <http://www.mywonderstudio.com/>